

## 令和元年度事業計画について

〈はじめに〉

平成から令和に改元されて初年度。旭川及び周辺の「観光」をめぐる諸情勢は大きく変わろうとしています。改元に伴って初の10連休となったゴールデンウィーク期間中、市内の代表的観光施設である旭山動物園の入園者数は天候に恵まれたこともあり昨年を7割近く上回る好調な出足となりました。

今後の旭川地域の観光に大きく影響を及ぼす要素の一つは旭川空港です。昨年の11月に国際線ターミナルを改築オープンした同空港は、久しく途絶えていた韓国（仁川空港）との定期路線がこの6月に大韓航空機の就航により復活するなど、早くもその効果が現れています。今年は旭川市が韓国水原市と姉妹都市提携を結んで30周年の記念すべき年で、8月に開催される旭川夏まつりに合わせ、水原市からは代表団の他、文化訪問団、市民訪問団一行が大挙して訪旭する予定で、定期路線の復活で両市間の相互交流に益々はずみがつきそうです。これまで道内7空港で進めてきた空港運営の一括民間委託化は今夏にも運営事業者が決定する最終局面を迎えます。今後、同空港が道北の空の玄関口としての環境を整えながら、道内の他の主要空港とともに一括運営されることのメリットは極めて大きいものと期待しているところです。

このような中、当圏域では一昨年、旭川市ほか周辺6町が参画して新たな観光地域づくりを目指す日本版DMO法人「(一社)大雪カムイミンタラDMO」が本格的に始動しました。DMO法人自らが運営主体となった「カムイスキーリンクス」はこの3月に初年度の営業を終えたところですが、前年度より来場者数が26.7ポイント増加するという上々の滑り出しをみせています。

当圏域内では、昨年5月に大雪山周辺におけるアイヌ文化が文化庁の日本遺産の認定を受けて（道内3例目）、現在「大雪山麓上川アイヌ日本遺産推進協議会」が中心となりながらアイヌ文化の発信に向けた具体的な取り組みを進めており、また、「大雪カムイミンタラジオパーク構想推進協議会」も日本ジオパークの認定に向けた検討を行っているところですが、これらのいずれもがかつてはなかった広域的な取り組みです。

この地域に住む者自らがこの地域の特性や魅力をよく知り、さらにそれに磨きをかけて発信していくことは、当圏域におけるこれからの観光振興においてはとても大切なことです。

当協会は、令和元年度も前年同様、こうした動きを支援しつつ、500余の会員とともに旭川市や旭川商工会議所、あさひかわ商工会、その他観光を推進する関係諸団体と連携を図りながら、観光客やMICEの誘致、旭川地域のPRや魅力発信、さらには各種イベントの実施などに取り組み、旭川はもとより道北地域の観光振興に尽力していく所存です。

## 1 観光宣伝及び観光客の誘致

(コンベンション・誘致委員会所管)

- ・国内外海外観光客の誘致促進
- ・教育旅行の誘致促進（市内各施設、近隣市町村と連携した体験型・通年型旅行の推進）
- ・バリアフリー観光の推進
- ・友好提携団体（公社）宮崎市観光協会との相互交流の推進

(企画・事業委員会所管)

- ・北海道音楽大行進、こたんまつり等各種イベント・事業の推進
- ・旭川夏まつり、旭川冬まつり、バーサーロペットジャパン、北の恵み食ベマルシェ等各種イベントの開催協力

(観光情報委員会所管)

- ・市内観光スポットの紹介や季節・イベント情報の発信

## 2 観光資源の保護、開発及び観光地の美化

(コンベンション・誘致委員会所管)

- ・平和通買物公園等中心市街地の活性化促進
- ・通過型から滞在型への着地型観光の開発及び充実

(企画・事業委員会所管)

- ・あさひかわ街あかり事業（イルミネーション事業）の推進
- ・市民憲章の推進及びごみのポイ捨て禁止運動への参加
- ・観光拠点の美化・イベント開催跡地の清掃

(観光情報委員会所管)

- ・外国語表示の観光案内看板、メニュー等の整備推進

## 3 観光拠点の整備改善及び管理運営

(コンベンション・誘致委員会)

- ・神居古潭、北の嵐山、北彩都地区等各観光拠点の整備改善・協力
- ・北海道シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート及び北海道ガーデン街道の推進
- ・空港利用拡大事業（国内外航空路線の維持・拡大）の推進・協力

(企画・事業委員会所管)

- ・旭川観光物産情報センターにおけるレンタサイクル、レンタルスキー事業等の充実
- ・きた・ひがし北海道広域観光周遊ルートの推進
- ・サイクリングロード、レンタカー利用等による周遊観光コースの開発

## 4 接遇の改善及び向上

(観光情報委員会所管)

- ・接遇改善、外国人観光客受入れ充実に向けた講習会などの実施
- ・観光拠点視察などによる意識啓発

## 5 コンベンションの誘致、創出及び支援

(コンベンション・誘致委員会所管)

- ・主要都市コンベンション主催者（本部及び北海道支部）及び地元主催者への誘致活動
- ・旅行エージェント等との誘致促進・協力活動
- ・北海道 MICE 誘致推進協議会への参加による誘致活動（商談会等への出展参加）
- ・7都市情報懇談会（旭川市、秋田市、前橋市、岐阜市、松山市、姫路市、鹿児島市）による誘致

#### 活動及び情報収集

- ・コンベンション先進都市の調査及び情報収集、データベースの充実
  - ・コンベンションに関する情報提供①主催者へ（会場、宿泊・交通アクセス、土産品、事業者情報、各種レンタル・印刷・大会運営・設営等）②協会会員へ（開催日時、会場、人数、主催者連絡先、開催に係る主催者からの各種発注案件の情報等）
  - ・コンベンション歓迎用看板、ステッカーの掲揚
  - ・コンベンション開催情報の報道依頼、協会ホームページへの掲載等
  - ・イベント・コンベンションカレンダーの作成及び配布による市民への周知（上・下半期ポスター版、会員限定版）
- （企画・事業委員会・観光情報委員会所管）
- ・スポーツ合宿誘致の推進

## 6 フィルムコミッション誘致及び支援

（コンベンション誘致委員会所管）

- ・映画・テレビドラマ等の撮影の誘致・支援
  - ・ジャパン・フィルムコミッションへの加入
- （観光情報委員会所管）
- ・ホームページでの情報発信

## 7 観光関係情報の収集及び提供

（観光情報委員会所管）

- ・ホームページ、SNSを活用した観光情報の発信
- ・旭川観光物産情報センター運營業務の推進と充実
- ・旭川総合観光情報センター（あさテラス）、旭川観光物産情報センター、旭山動物園及び道の駅における観光情報提供の充実
- ・観光ガイドマップの製作及び配布

## 8 旅行業法に基づく旅行業

（コンベンション・誘致委員会、企画事業委員会所管）

- ・着地型旅行商品の開発・販売、航空券・ホテル・旅館等の手配
- ・（公社）宮崎市観光協会、南さつま市等との相互交流事業の実施
- ・台湾GIANT旅行社主催によるサイクリングツアーの受入れ
- ・その他当協会の関与が必要な旅行の実施

## 9 その他本協会の目的を達するために必要な事業

（総務委員会・企画・事業委員会所管）

- ・組織強化及び財政基盤の確立に向けた各種取組推進

（コンベンション・誘致委員会所管）

- ・国、北海道、市町村などの関係自治体及び機関との連携・協力推進
- ・（公社）日本観光振興協会、（公社）北海道観光振興機構、あさひかわ観光誘致宣伝協議会、上川地方観光連盟、（一社）大雪カムイミンタラDMO、大雪山麓上川アイヌ日本遺産推進協議会、旭川市スポーツ合宿誘致等推進協議会、大雪カムイミンタララジオパーク構想推進協議会、旭川空港利用拡大期成会等関係団体との連携・協力推進

（観光情報委員会所管）

- ・旭川観光ボランティア協議会との連携強化
- ・イベント・施設・風景の写真や映像などの観光発信に必要な素材の取得と提供

## 令和元年度以降の主なコンベンション（予定）

令和元年度（2019年度）

6/14～15	第32回日本老年泌尿器科学会（旭川市民文化会館） 約550名
9月予定	将来の課題のための日・オーストリア委員会（星野リゾートOMO7） 約50名
8/22～24	第46回全国海外子女教育国際理解研究大会（旭川トーヨーホテル） 約200名
10/26～27	第51回日本小児感染症学会・総会・学術集会（星野リゾートOMO7） 約1,200名
9/21～22	第2回日本腫瘍環境器学学術集会（星野リゾートOMO7） 約550名

令和2年度（2020年度）

5/14～17	第93回日本産業衛生学会（旭川市民文化会館ほか） 約3,500名
7月予定	全道保育協議会 約300名
7/11～15	AGRI EXPO 2020（大雪クリスタルホール他） 約20,000名
8/4～8/5	第17回日本口腔ケア協会学術大会（旭川医大） 約200名
9/20～21	第43回日本鉄バイオサイエンス学会学術集会（旭川大雪クリスタルホール） 約250名